



菊武学園フラッシュニュース

さくら国際高等学校と高大連携協定

名古屋産業大学では、6月30日、長野県飯田市に本部を置く一般社団法人太陽学園が運営するさくら国際高等学校南信キャンパスとの高大連携事業に関する協定の調印式が本学で執り行われました。荒木政吾理事長と高木弘恵学長が協定書に署名を交わし高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、大学進学を目指す在校生の支援体制が整い、進路の選択肢が広がるとともに、高校生が大学の講義や教育プログラムに参加する機会を設けることで、高等教育への理解と関心を深める取り組みを進めていきます。また、指定校推薦制度を設け、本学への進学をよりスムーズに実現できるよう支援していきます。さらに南信キャンパスから本学の通信教育課程（2025年4月開設）に進学した学生に対しては、本人の希望に応じて、引き続き同キャンパスにおいて支援を受けられる体制が整えられます。本学は今後も、地域や教育機関との連携を通じて、多様な学びの機会を創出し、学生の成長を支援してまいります。

フリースクールや民間学童保育を運営してきた太陽学園は、昨年4月に広域通信制のさくら国際高等学校と提携し、同校の南信キャンパスを開設されています。



（荒木理事長（左）と高木学長）

「100円朝食」能登半島地震の被災者らに

菊華高等学校では、昨年度より始めた100円朝食を計14回にわたって提供することができました。アンケートでは6割以上の生徒が利用し、味への満足度は9割弱を占め、今年度の利用希望も8割超えと、生徒からはとても好評でした。また、100円朝食を提供するにあたって、PTAや後援会の方々、先生方からご寄付をいただき、収支がわずかな赤字で終えることができました。今年度は、昨年度の課題や反省を生かし、ボランティアメンバーを固定化し、スタッフTシャツ&キャップを揃えるなど、よりスムーズな運営を図るとともに、活動の幅を広げ、被災地での出張ボランティア活動に取り組み、学びにもつなげていきたいと考えています。

7月6日、能登半島地震で被災した石川県七尾市で開催された「ほっとカフェ七尾」のオープニングイベントに生徒24名、卒業生2名の計26名が参加し、被災地の高齢者の方々に無料で「100円朝食」メニューを提供しました。インタビュー形式で被災体験のお話を伺いながら積極的に被災地交流を行いました。さらにNPO代表の方から「本当の意味で、人に寄り添うとはどういうことか」というテーマで講話をしていただきました。主催者の方や被災地の方から参加した生徒の素直さや優しさ、気配りなどに大変感動し、元気をもらえたとのこと言葉をいただきました。今後もこうしたご縁を大切に、活動理念である「心を結ぶ」ことを念頭に置いて活動していきたいと思ひます。

この様子は、7月4日付の中日新聞朝刊、7月13日付の南信州新聞朝刊に取り上げていただきました。



（イベントに参加した生徒ら）

サマースクールでラフティング体験

菊武ビジネス専門学校では、「サマースクール」が行われ、岐阜県郡上市を流れる清流・長良川でのラフティング体験に生徒22名が参加しました。

生徒たちは、着替えを済ませると、ヘルメットとライフジャケットを身に付けて専用のゴムボートに乗り込み、定位置でスタートの合図を待ちます。そして、いよいよインストラクターの掛け声のもとにスタートしました。豪快に川を下り、乗船した直後はバラバラだったパドルの操作も徐々に揃ってきて、途中いくつもの激流ポイントが立ちはだかる度に、息を合わせ、必死にパドルを動かしていました。「水しぶき、歓声が沸き起こり、一人では乗り越えられない川も、仲間と協力してなら渡れる」、そんなことを自然が教えてくれたような気がします。叫んで、笑って、全身びしょぬれになった一日が、これからも心に残り続けて欲しいと思ひます。



（ラフティングの様子）

オープンキャンパス「OODOY」レポート

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、本校の3学科の魅力を高校生や保護者に向けて発信するオープンキャンパス「OODOY」が、夏休み期間中に開催されました。

トータルビューティ科の「ビューティDAY」では、ハリウッド発祥の最先端メイク技法エアブラシメイクを使ったヘアメイクショーが、フラワービジネス科の「フラワーDAY」では、“塔の上のラプンツェル”をテーマに学生と教員が自由な発想で作上げていくフラワーショーが行われました。

この時だけのスペシャルショーを披露することで、本校在学の2年間で学生がどれだけの専門技術を習得できたのか、そして、それを支えてくださるプロの先生方の素晴らしさが伝わる2日間となりました。

残る『ブライダルDAY』のショーも非常に楽しみです。



（ビューティ DAY）



（フラワーDAY）

海岸清掃ボランティア活動を行う

豊橋宮野ビジネス高等専修学校では、7月29日、菊華高等学校普通科保育・福祉コースとの合同企画「海へいこう」の一環として、同コース2・3年生の生徒と恋路ヶ浜（愛知県田原市）で海岸清掃ボランティア活動を行いました。当日は晴天に恵まれ、まばゆい夏の陽光に包まれながら、袋いっぱいペットボトルやプラスチックごみ、漂流物などを回収しました。今回は、持続可能な社会の実現に向けた温室効果ガスの排出量削減の一步を踏み出す活動となりました。また、友達同士や姉妹校生徒とのつながりを深めながら、美しい自然環境の保全について改めて考える貴重な機会にもなりました。



（海岸清掃を行う生徒ら）

PTA主催の「お楽しみ会」開催

菊武幼稚園では、7月17日にPTA主催の「お楽しみ会」を本園講堂で開催しました。PTA役員の皆様が4月から準備をされ、ボランティアの保護者の方々がお手伝いくださる中で、当日は学年ごとに2クラスが同時に講堂に集まり、年長・年少&満3歳・年中の順番でゲームが繰り広げられました。子ども達は、釣り竿を使って1分間、きんぎょを釣る遊びの「きんぎょ釣り」と、保護者の方が作ってくれたライオン、カバの口を狙って投げる遊びの「ボール投げ」のゲームを楽しみました。ゲーム中は大賑わいで、子ども達の楽しそうな声であふれていました。



（お楽しみ会の様子）

ゲームを終えると、子ども達は、持参した大きな袋にPTAさんが用意してくれた景品を入れて貰って、ニコニコ顔でした。

幼児クラス プール開き

稲葉保育園では、厳しい暑さが続く中、7月14日に待ちに待った幼児クラスのプール開きを行いました。

当日は、子ども達は登園時からワクワクした様子で、プールの時間になると、大急ぎで水着に着替えて準備万端。そして、各クラスでプールでのお約束を確認した後、準備体操をしてプール遊びがスタートしました。

顔に水がかかっても平気な子、水しぶきにドキドキの子と様々でしたが、すぐにプールの水に慣れ、お約束を守って楽しく遊ぶことができました。プールから出るところには、みんな飛び切りの笑顔でした。



（プール開きの様子）